

(別紙4(2))

事業所名 グループホームRU・RU・RU

目標達成計画

作成日: 平成 27年 4月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	地域行事に参加したり出向くことで地域との交流は図ることが出来たが、地域住民の方々にホームの活動内容を知って頂いたり、認知症についての理解をして頂くまでには至っていない。	実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしていく。	I. 地域住民との交流 ①近所の方と会った時には、必ず挨拶を行いなじみの関係を築き継続していく。(月1回評価) ②ホームに地域住民やボランティアを招き、行事を行う。(年4回以上) II. 成岩地区の行事に参加する ①回覧板、市報などの情報を確認をして、入居者と共に参加出来る地域清掃や資源回収または行事などに参加する。(毎回参加) ②小学校・保育園との交流を継続していく。(年6回以上)	12ヶ月
2	13	ホームで定期的な勉強会の実施や法人内外での勉強会、研修会への参加できる体制を整えているが、職員全員が参加できてはいない。	職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めていく。	I. 各自が学習した内容を発表し合い、他の学習内容を知る事で自分の介護の視点を増やす。(年1回以上) II. 各自が個人目標を持ち、「認知症の介護」に関わる研修に参加する。(年1回以上)	12ヶ月
3	20	ホームで安心して生活できるよう支援を行っているが、本人にとって馴染みのある人や場所との関係の継続ができていない。	馴染みのある人や場所との関係が途切れないように支援していく。	家族・本人と話し合い、馴染みのある場所や知人・友人との関係性を把握していき、関係を継続できるように、訪問したり手紙を出すなど実践していく。(入居者全員)	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。